

総合臨床検査学演習III

[演習] 第4学年 後期 必修 4単位

《担当者名》 高橋祐輔 吉田 繁 遠藤輝夫 松尾淳司 幸村 近 坊垣暁之 沖野久美子 小野誠司 高橋祐司 藏満保宏
黒澤隆夫 鈴木喜一 丸川活司 近藤 啓 田中真樹 山崎智拓 江本美穂

【概要】

国家試験の対象となる全分野について、過去の国家試験問題および予想問題を中心に総合的に学習することで臨床検査全体のより深い知識を得る。本講義では1) 医用工学概論、情報科学概論、検査機器総論、2) 公衆衛生学、関係法規、医学概論、3) 臨床検査医学総論、臨床医学総論、4) 臨床検査総論、検査管理総論、医動物学、5) 病理組織細胞学、解剖学、病理学、6) 臨床生理学、生理学、7) 臨床化学、生化学、RI技術学、8) 臨床血液学、9) 臨床微生物学、微生物学、10) 臨床免疫学、11) 臨床実習に関わる内容について総合的に学習する。学科の全教員が担当する。

【学修目標】

- 1) これまでの臨床検査学の学習で理解が不十分な点を点検し、臨床検査の実践に活用するための総合力を身につける。
- 2) 臨床検査技師として必要な基礎および先進・高度化する専門分野の知識について整理統合を行う。
- 3) 各疾患の病態像を説明できる。
- 4) 種々の臨床検査項目の臨床的意義や目的、正確な測定方法を説明できる。
- 5) 診断等に必要臨床検査項目を疾患別に選択できる。
- 6) 様々な臨床検査データを適切に分析し、患者の病態を解釈できる。
- 7) 各種病原体の同定方法や治療薬の選択に関わる検査法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 6	臨床検査総論	一般検査学に関する知識の整理統合 検査管理学に関する知識の整理統合 関係法規に関する知識の整理統合 医動物学に関する知識の整理統合 キーワード：一般検査学、検査管理学、関係法規、医動物学	吉田 繁 遠藤輝夫 松尾淳司
7) 9	臨床検査医学総論 臨床医学総論	臨床検査医学総論に関する知識の整理統合 臨床医学総論に関する知識の整理統合 臨床病態学に関する知識の整理統合 キーワード：臨床検査医学総論、臨床医学総論、臨床病態学	幸村 近 坊垣暁之
10) 17	臨床生理学	生理学に関する知識の整理統合 臨床生理学に関する知識の整理統合 キーワード：生理学、臨床生理学	幸村 近 沖野久美子 小野誠司
18) 27	臨床化学	臨床化学に関する知識の整理統合 生化学に関する知識の整理統合 RI技術学に関する知識の整理統合 キーワード：臨床化学、生化学、RI技術学	遠藤輝夫 高橋祐司 藏満保宏 黒澤隆夫 鈴木喜一
28) 36	病理組織細胞学	病理組織学に関する知識の整理統合 解剖学に関する知識の整理統合 病理学に関する知識の整理統合 キーワード：病理組織学、解剖学、病理学	丸川活司 近藤 啓
37) 42	臨床血液学	臨床血液学に関する知識の整理統合 キーワード：臨床血液学	田中真樹 高橋祐輔
43) 49	臨床微生物学	微生物学に関する知識の整理統合 臨床微生物学に関する知識の整理統合 キーワード：微生物学、臨床微生物学	松尾淳司 山崎智拓
50) 56	臨床免疫学	臨床免疫学に関する知識の整理統合 キーワード：臨床免疫学	坊垣暁之 高橋祐輔

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
57) 60	医用工学概論	医用工学に関する知識の整理統合 情報科学に関する知識の整理統合 検査機器学に関する知識の整理統合 公衆衛生学に関する知識の整理統合 キーワード：医用工学、情報科学、検査機器学、公衆衛生学	江本美穂 高橋祐司 山崎智拡

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 100%

【教科書】

これまでに各教科で使用した教科書、参考書および配布資料
適宜、資料を配布する。

【備考】

講義の開講順は、変更する場合がある。変更内容や講義日程は、ガイダンス時または掲示等にて発表する。
一部クリッカーを使用した双方向型授業を行う。
一部クリッカーを活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。
一部Google Formを利用して学習課題を提示する。

【学修の準備】

4年間の総まとめであることを理解し、能動的な参加を求める。
授業内容に該当する内容について、これまでに使用した教科書や配付資料などを用いて予習と復習をすること(80分)
講義で取り扱った内容をノートにまとめ、図書館などで関連した過去の国家試験問題を探し類題を解くこと(80分)

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
(DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

高橋祐輔（臨床検査技師）、吉田 繁（臨床検査技師）、遠藤輝夫（臨床検査技師）、幸村 近（医師）、坊垣暁之（医師）、
沖野久美子（臨床検査技師）、小野誠司（臨床検査技師）、高橋祐司（臨床検査技師）、藏満保宏（医師）、黒澤隆夫（薬剤師）
、丸川活司（臨床検査技師）、近藤 啓（臨床検査技師）、田中真樹（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、臨床検査学全般の総合的知識について講義を行う。